

令和３年度 第２回長浜市入札監視委員会 会議録（要旨）

日 時		令和４年３月２８日（月） 午後２時３０分から午後５時まで
場 所		長浜市役所本庁舎５階 第５－Ｄ会議室
会議の公開・非公開の別		非公開
出席者	委員	水原渉委員長、須永知彦委員、田嶋明日香委員
	事務局	堤契約検査課長、谷沢課長代理、主馬主幹、五十嵐主査

議題（１）入札及び契約手続きの運用状況の報告について

事務局	① 令和３年１０月以降の取組 下記の取組について説明 ・積算疑義申立制度の運用状況 ・低入札価格調査手続きにおける「見積内訳の検討に係る判断基準」の一部改正 ・「長浜市優良工事表彰制度」の創設 ・建設工事競争入札参加者の格付基準における主観的評価項目の追加 ・「長浜市発注の建築一式工事に関する基本方針」の一部改正 ・建築系工事の最低制限価格算定式の改定 ・最低制限価格及び低入札価格調査基準価格の算定式の改定
委員	疑義申立によって、入札中止にする場合と入札続行にする場合の線引きは？
事務局	積算内容の精査の結果発見した誤りを訂正した場合に、予定価格に１円でも増減が生じる場合は、入札中止とします。
委員	積算誤りが何度も生じる原因として考えられることはあるのか？
事務局	工事の積算を担当している職員の多くは、入庁時から積算システムで設計積算を行うことが当たり前で、歩掛りや補正率などを基準書で調べる機会が少なくなって、積算を行う際に、根拠となる考え方や工程全体をあまり意識できていないのかもしれない。
委員	経験に基づく「技」の伝承とシステムティックなチェック機能の両方が必要であると感じる。入札中止となると受注者、発注者ともに手間と時間に「無駄」が生じるので、設計違算対策の研修とシステムによるチェック機能強化が図られるよう期待する。

委員長	ただいまの事務局からの説明を受けて、長浜市の令和３年度下半期の入札・契約制度の運用状況、制度改正等について確認した、としてよろしいか。 (全委員、了承)
事務局	② 直近までの落札率の状況 平成２６年度から直近（令和４年２月末）までの落札率について説明 建築一式工事のＡ号が乱高下しているように見えるのは、Ａ号対象の工事が年間で数件のため、当該案件の落札率が直に反映されているためです。 積算基準の大幅な変更や公契連モデルの率に改正は無かったことから、特筆すべき点は見受けられません。
委員	令和３年度の建築一式工事Ａ号の落札率が９９％だが、これは不自然ではないのか。
事務局	この落札率は長浜城歴史博物館耐震補強工事１件の落札率が反映されているもの。 応札者４者のうち３者が予定価格オーバーであった。天守閣がある城ということで形状が特殊であったこと、据付型展示ケースが既製品ではなかったことが原因で応札額が高止まりしたものと思われる。
事務局	③ 令和３年１０月から令和４年２月までの入札執行状況 下記の資料により、入札執行状況を説明 ・入札方式別発注工事等総括表 ・入札方式別発注工事等一覧表
委員	(特に、意見・質問なし)
事務局	④ 入札参加停止等の運用状況 入札参加停止等の運用状況の一覧表により説明 (対象案件：１件、対象業者：１者)
委員	(特に、意見・質問なし)
事務局	⑤ 談合情報対応状況 今期については、対象となる情報なし

議題（２）入札方式別発注工事等一覧表からの抽出事案の審議について

	(須永委員から、案件抽出の経過について報告)
事務局	① 木之本西幹線投入点（１６）接続工事（下八木第３工区） (概要説明)
委員	応札者の半数以上が失格となっているが、積算が難しい案件だったのか。
事務局	施工距離が長いため、推進工法に使用する専用機器の損料をどう見積もるかが、入札額に大きく影響した結果ではないかと考えています。
事務局	② あざい認定こども園トイレ洋式化改修工事 認定こども園３園トイレ洋式化改修工事 (概要説明)
委員	あざい認定こども園トイレ洋式化改修工事は、応札者が２者のうち１者が同日１件目の落札者であったのであれば、本件は取り抜け方式適用の例外になるのではないかと。
事務局	第５条の例外規定は、本件入札執行時には「応札者が１者のみの場合」としていました。しかし、本件入札の結果を受けて、特に応札者が少ない傾向にある建築系工事では、この条件では入札不調が多発する懸念があったため、１１月３０日に「取り抜け方式を適用することにより入札参加者が２者未満となる場合には、取り抜け方式を適用しない。」と例外規定を見直したものです。
事務局	③ 長浜伊香ツインアリーナ第２期整備工事（植栽） (概要説明)
委員	応札結果が「失格」であったということは、応札者には通知されるのか。
事務局	入札不調であった場合、予定価格及び最低制限価格は公表しないが、応札者名と「失格」や「予定価格超過」の摘要は公表します。各応札者には摘要の内容は電子入札システム上で通知されます。
委員	再度入札を実施されるときには仕様・設計を変更されると思うが、全者失格とならないような工夫はされるのか。

事務局	初度入札時の仕様・設計書と再度入札のものを見比べたときに、変更内容が分かり易い箇所を変更することが多いです。
事務局	④ （仮称）神田スマート I C 実施計画書作成他業務委託 （概要説明）
委員	この案件は、最低制限価格は設けられなかったのか。
事務局	予定価格の算出に係る明確な歩掛りや算定基準がない業務については、最低制限価格を設けない方針としています。 なお、本件の落札者は、令和元年に神田スマート I C 基本計画策定業務の受注者でもありますので、落札率が低かったものと思われます。
事務局	⑤ 虎姫コミュニティセンター耐震診断業務委託 （概要説明） （特に質問・意見なし）
事務局	⑥ 長浜南部給食センター調理配送業務 （概要説明）
委員	提案者が 1 者のみで落札率も高いが、理由として考えられることはあるか。
事務局	給食調理を初めて外部委託することとなった平成 25 年度にも公募型プロポーザルを実施されていますが、この際には 5 者の提案者があり、本件の契約相手方と同じ事業者が受注されています。 配食数と配食先が多いため、従業者と配送車を一定数確保する必要があることから、現受注者以外が参画するのは難しい業務かもしれません。
委員	結果として同一事業者が長年受注者となっていることは理解できるが、現受注者の業務履行状況を評価して、プロポーザル方式の採点に反映できる仕組みがあると良いのでは。
事務局	指定管理者制度の場合「モニタリング調査」ということで、指定管理業務の履行状況を確認・評価する仕組みがありますが、プロポーザル方式による「実績評価」では、実績の有無を評価するにとどまっています。

委員	業務完了時に発注者が履行状況について評価することは必要であるとする。 その評価をプロポーザル方式の評価項目として利用するには、「優良工事表彰」のような制度が多く自治体で実施されないといけないかもしれない。
委員長	以上で、抽出案件についての個別の説明・審議は全て終了しましたが、全体を通して何か御意見ありますか。 (特に意見なし)

議題（３）その他

委員長	来年度に向けての意見具申について、協議したいと思います。
委員	(協議)
委員長	ただいまの協議を踏まえ、 ・ 施工時期の平準化推進のため、余裕期間制度の積極的活用と予算措置について議会の理解を得るための努力 ・ 設計違算対策として、工事全体の流れを意識した設計積算が行えるような技術職員の研修制度の充実 ・ 建設業に対する時間外労働上限規制への対応として、「週休２日制」の検討 ・ 地域インフラの整備及び維持補修で「地域の担い手」が活躍できるよう、多様な入札方式の研究 ・ 「変動型最低制限価格制度」についての研究 以上のことについて、来年度に向けての意見具申としたいと思います。
委員	(異議なし)
委員長	本日の議事は全て終了しましたので、以上を以って入札監視委員会を終了します。

次回の開催：令和４年１０月下旬頃

案件抽出：規則第２条第２号の規定に基づき委員会が指定する工事等の抽出は、輪番により田嶋委員が抽出委員となった。